

頼 俊元さんは台湾出身、2019年9月から1年間の予定で、岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科に在籍しています。日本の印象や大学での勉強、また、好きな食べ物や銭湯について、一生懸命に勉強中の日本語で書いてくれました。

\*\*\*\*\*

台湾から来た、岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科の頼 俊元（ライ シュンゲン）です。

台湾私立朝陽科技大学と岩手県立大学間の交流プログラムにより来日しました。教授は機械学習（テキストマイニング）が専門ですので、テキストマイニングを勉強しています。大学院を終わった後は、一旦、台湾に帰って、台湾の大学院を卒業して、そのあとまた日本に戻ってきて、就職する予定です。

日本の街は綺麗で、人々はしっかりと規律を守っています。そしてとっても優しいです。雪がすごく綺麗で、新幹線の速さが凄く驚きました。台湾に居る時、交通手段はバイクでした。日本では、住んでいるところが駅から遠いので、バスしかありません。でも、バスが遅れることがあり、チョット困ります。

ラーメンとお寿司が一番好きな食べ物です。特に味噌味が大好きです。銭湯の文化もとても好きで、皆と一緒に風呂に入るのはとても新鮮な体験です。今年は、コロナウイルスのせいで多くのイベントが中止になったのが残念です。



頼 俊元さん 岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科



佐々木 晃基さん 岩手県立大学総合政策学部